# 5 日記

## 単元のねらい

◆日記文学の特徴や成立の背景を理解する。
◆諧謔などの表現の工夫を味わう。
◆変体仮名を読む。

・仮名文字で書かれた日記文学の嚆矢である「土佐日記」の文学史上の位置と特徴、女性仮託という虚構の方法について理解する。
・諧謔表現を読み味わい、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。
・日本の伝統的な書記法であり、現代のひらがなに通じる変体仮名を読み、幅広く古典に対する関心を持つ。

生徒が初めて接する本格的な日記という文学形態を通じて、当時の旅の様子や作者の内面を理解させ、文字を読む楽しさや古典の世界の広がりを知ることをねらいとしている。

## 単元の構成

「土佐日記」より、「門出」「阿倍仲麻呂」「帰京」の三教材を取り上げた。作品の書き出しである「門出」と旅の帰着である「帰京」を併せ読むことで、作品の全体像と作者が日記に託した思いを知ることができるように配慮した。また、「阿倍仲麻呂」は、「百人一首」の歌人である阿倍仲麻呂の和歌にまつわる話で、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について学習できる。

古典に関する文章「男の文章と女の文章」は、男性の書く日記と女性の書く日記の違い、紀貫之が女性仮託して「土佐日記」を書いた背景と意義について、親しみやすい文章で記しており、「土佐日記」について理解を深めることができる。

「古文の窓４　真名と仮名」では、日記が綴られた文字に着目し、日本語の文字の由来を学びつつ、その豊かさに気づかせる。

「単元の言語活動５　変体仮名を読む」では、変体仮名で記された「土佐日記」の「門出」の部分を題材にひとつひとつの字母を確認しながら読んでいく。